



## 2023年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年8月9日

上場会社名 岩崎通信機株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 6704 URL <https://www.iwatsu.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 木村 彰吾  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理本部長 (氏名) 時田 英典 TEL 03-5370-5111  
 四半期報告書提出予定日 2022年8月9日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年3月期第1四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年6月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	4,940	0.4	△419	—	△397	—	△400	—
2022年3月期第1四半期	4,920	30.7	△351	—	△309	—	△257	—

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 △297百万円（-％） 2022年3月期第1四半期 △201百万円（-％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	△40.31	—
2022年3月期第1四半期	△26.00	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第1四半期	35,479	24,822	70.0
2022年3月期	36,441	25,359	69.6

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 24,822百万円 2022年3月期 25,359百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	25.00	25.00
2023年3月期	—	—	—	—	—
2023年3月期（予想）	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	23,700	2.2	△400	—	△350	—	△350	—	△35.22

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期1Q	10,080,344株	2022年3月期	10,080,344株
② 期末自己株式数	2023年3月期1Q	130,824株	2022年3月期	141,711株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期1Q	9,944,925株	2022年3月期1Q	9,923,160株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定等については、添付資料P.2「当四半期決算に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績の状況 .....	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書 .....	5
四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
継続企業の前提に関する注記 .....	7
株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	7
セグメント情報 .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績の状況

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症による行動制限が緩和され、経済活動の正常化に向けた動きが見られたものの、急激な円安の進行、ウクライナ情勢の長期化による原油・原材料価格の高騰や各種資材の調達難の影響により、依然として先行き不透明な状況が続いています。

このような状況の中、当社グループでは中期経営計画「REBORN」の基本方針に則り、徹底した固定費削減と成長戦略促進を実現するための抜本的な構造改革を推進しております。また、部品調達活動及び生産活動に注力し、売上収益の確保を図ってきました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上収益は4,940百万円（前年同期比0.4%増）、営業損失は419百万円（前年同期は351百万円の営業損失）、経常損失は397百万円（前年同期は309百万円の経常損失）、親会社株主に帰属する四半期純損失は400百万円（前年同期は257百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

セグメントごとの状況は次のとおりです。

#### (情報通信事業)

情報通信事業においては、主力製品であるビジネスホンの売上収益は増加しましたが、資材調達難の影響により生産子会社における受託生産の売上収益が減少しました。この結果、事業全体の売上収益は3,919百万円で前年同期に比べ0.4%の減収となりました。セグメント利益は原材料価格の高騰によるビジネスホンの原価率悪化により129百万円の利益（前年同期は165百万円の利益）となりました。

#### (印刷システム事業)

印刷システム事業においては、主に消耗品の売上収益が前年の価格改定前の前倒し受注等の反動により減少しました。この結果、事業全体の売上収益は328百万円で前年同期に比べ9.2%の減収となりました。セグメント損益は販売費及び一般管理費の減少により、64百万円の損失（前年同期は75百万円の損失）となりました。

#### (電子計測事業)

電子計測事業においては、主に電子部品の売上収益が増加しました。この結果、事業全体の売上収益は562百万円で前年同期に比べ6.7%の増収となりました。セグメント損益は売上収益の増加に対し、原材料の先行手配に伴う棚卸資産評価損の増加による原価率悪化により74百万円の損失（前年同期は80百万円の損失）となりました。

#### (不動産事業)

不動産事業においては、新たに取得した賃貸用不動産の収入が増加したことにより、事業全体の売上収益は130百万円で前年同期に比べ36.4%の増収となりました。セグメント損益は売上収益の増加に伴い、31百万円の利益（前年同期は7百万円の利益）となりました。

### (2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の連結業績予想につきましては、現時点においては、2022年5月13日に公表しました通期の業績予想から変更はありません。なお、業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき判断したものであり、今後の為替相場の変動や地政学リスクによる原材料価格の上昇、各種資材の調達難等の要因により、予想数値と大きく異なる可能性があります。今後、業績予想に変更が生じた場合には速やかに開示します。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,927	5,661
受取手形	514	540
電子記録債権	578	580
売掛金	4,555	3,151
商品及び製品	1,732	1,931
仕掛品	725	949
原材料及び貯蔵品	3,044	3,434
その他	154	190
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	17,232	16,438
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,377	5,323
土地	10,032	10,046
その他(純額)	1,193	1,181
有形固定資産合計	16,603	16,551
無形固定資産		
ソフトウェア	911	812
その他	45	45
無形固定資産合計	956	858
投資その他の資産		
投資有価証券	1,149	1,118
その他	533	547
貸倒引当金	△34	△34
投資その他の資産合計	1,648	1,630
固定資産合計	19,208	19,040
資産合計	36,441	35,479

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,764	1,594
短期借入金	75	113
賞与引当金	520	259
製品保証引当金	65	63
その他	1,849	1,782
流動負債合計	4,275	3,813
固定負債		
繰延税金負債	3,226	3,210
株式給付引当金	56	50
退職給付に係る負債	2,966	3,033
その他	557	549
固定負債合計	6,805	6,843
負債合計	11,081	10,657
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,025	6,025
資本剰余金	6,948	6,948
利益剰余金	11,977	11,327
自己株式	△135	△127
株主資本合計	24,815	24,174
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	304	280
為替換算調整勘定	0	165
退職給付に係る調整累計額	239	202
その他の包括利益累計額合計	544	648
純資産合計	25,359	24,822
負債純資産合計	36,441	35,479

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
売上収益	4,920	4,940
売上原価	3,355	3,423
売上総利益	1,564	1,517
販売費及び一般管理費	1,916	1,936
営業損失(△)	△351	△419
営業外収益		
受取利息	0	3
受取配当金	21	24
受取地代家賃	9	9
その他	12	9
営業外収益合計	43	47
営業外費用		
支払利息	0	0
為替差損	0	23
その他	0	1
営業外費用合計	1	25
経常損失(△)	△309	△397
特別利益		
補助金収入	33	—
特別利益合計	33	—
税金等調整前四半期純損失(△)	△275	△397
法人税、住民税及び事業税	8	6
法人税等調整額	△25	△2
法人税等合計	△17	3
四半期純損失(△)	△257	△400
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△257	△400

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
四半期純損失(△)	△257	△400
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	35	△23
為替換算調整勘定	△0	164
退職給付に係る調整額	21	△36
その他の包括利益合計	56	103
四半期包括利益	△201	△297
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△201	△297



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

セグメント情報

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第1四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年6月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	情報通信	印刷システム	電子計測	不動産		
売上収益						
外部顧客への売上高	3,935	361	527	95	—	4,920
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	3,935	361	527	95	—	4,920
セグメント利益又は損 失(△)	165	△75	△80	7	△368	△351

(注) 1. セグメント損益の調整額△368百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△368百万円が含まれています。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

2. セグメント損益は、四半期連結損益計算書の営業損益と調整を行っています。

当第1四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年6月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	情報通信	印刷システム	電子計測	不動産		
売上収益						
外部顧客への売上高	3,919	328	562	130	—	4,940
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	3,919	328	562	130	—	4,940
セグメント利益又は損 失(△)	129	△64	△74	31	△441	△419

(注) 1. セグメント損益の調整額△441百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△441百万円が含まれています。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

2. セグメント損益は、四半期連結損益計算書の営業損益と調整を行っています。